

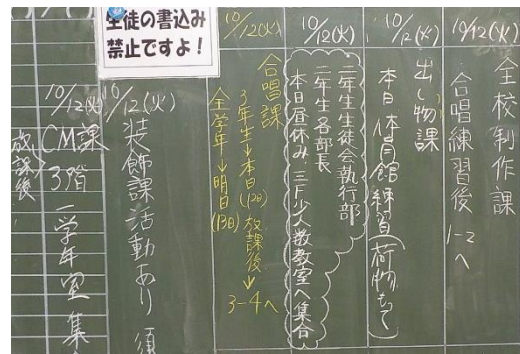
「文化祭間近」(令和3年10月13日(水))

宮城県・柴田町立船岡中学校 校長

文化祭の準備が佳境です。今週16日(土)、合唱コンクールと文化祭が開催されます。そのための準備を、現在、各クラス、各課で進めています。連絡黑板には、毎日、活動場所等の連絡が書かれていて、学校をあげて取り組んでいることが伝わってきます。



今年度の文化祭ポスター(左)と連絡黑板に書かれた各課の連絡事項



文化祭テーマに込められている「困難や大変なことを乗り越えた先に、充実感や達成感、そして成長が待っている」という願いを実現するために、一人一人が自分の役割を果たし、全員で支え合ってほしいと願っています。

妊婦体験学習(3年)

先週5日(火)と7日(木)に、町健康福祉課の方々に講師の先生として、3年生を対象とした妊婦体験学習をクラスごとに行いました。スライドによる概要説明の後、赤ちゃんの人形を使って、オムツ交換をしたり、だっこをしたりしました。また、重さ8kgのベストを身につけた姿勢で、掃除をしたり、床から荷物を持ち上げる動作をしたりして、妊婦さんの大変さを体験しました。

男子生徒も積極的に取り組んでいました。



(3年)妊婦体験学習。赤ちゃん(人形)のオムツ交換をしたり、重さ8kgのベストを身につけて掃除をしたりして、妊婦さんの大変さを体験しました。

県駅伝競走大会(10月6日)

先週6日(水)に、栗原市築館陸上競技場で県駅伝競争大会が行われ、柴田地区の代表として本校が出場しました。コロナ感染対策として、櫂(たすき)をつながらず、各区間の走者ごとに3000mのタイムレースを行い、その記録の合計を競いました。本校のどの選手も上位をうかがう好タイムでゴールしました。

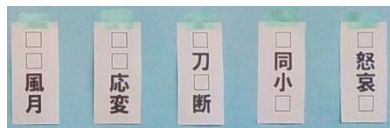
夏休み中の練習を含め、日頃の練習の成果を出すことができた大会でした。



県駅伝競技大会で力走する各地区代表校の選手(10月6日栗原市)

◆◆◆◆◆【読書案内】◆◆◆◆◆

島森哲男「四字熟語」(1995年、新書257ページ) 校長室前廊下に「四字熟語クイズ」の掲示物を貼っている関係で、自宅に眠っていたこの本を本棚から引っ張り出して読んでみました。四字熟語の成り立ちの他に、どのような場面で使われるのか、具体的にユーモラスに書かれています。「龍頭蛇尾」では、『学生の論文などで、まえがきはまことに立派で、なかなかいいところに目を付けたと期待して読むと、後半あきらかに時間切れでさらっと流して書いてあり、(略) こういうのを「龍頭蛇尾」というのである』(p.157)と実に歯切れ良く書かれています。私の大学時代、筆者の講義を受け、原稿用紙10枚の課題が出され、四苦八苦して書き上げた記憶があります。今にして思えば「龍頭」にすらなれない代物でした。



伏せ字を2文字の「四字熟語クイズ」



ハロウィンの掲示物です。(1階)



10月(神無月)です。〇〇の秋です。